

## (仮称)新「神戸市青少年会館」基本計画(案)について

### 1. 目的

神戸市青少年会館(勤労会館5・6階部分)は、三宮周辺地区の再整備基本構想の中で、第Ⅰ期バスターミナルの整備エリアとなっている中央区雲井通5丁目に位置していることから、平成32年度(2020年度)から平成33年度(2021年度)頃を目途に移転することを予定している。

そのため、移転にあたっては、現在の利用状況や、これまでにいただいたご意見なども踏まえ、『(仮称)新「神戸市青少年会館」基本計画(案)』を策定した。

### 2. 基本計画案作成までの経緯

#### (1) 利用者へのアンケート調査の実施

①対象：来館者 ②期間：平成28年7月中旬～8月中旬

③回答：1,793票

#### (2) 青少年を対象としたワークショップの開催

①対象：中高生、予備校生、大学生等 ②期間：平成30年8月上旬～9月上旬

③回答：92人

#### (3) 登録団体へのアンケート調査の実施

①対象：青少年会館登録団体 ②期間：平成30年11月中旬～11月下旬

③回答：151団体(回収率79.9%)

#### (4) 基本計画案に対する市民意見募集

平成31年1月11日(金)～1月31日(木)に実施

### 3. 『(仮称)新「神戸市青少年会館」基本計画(案)』における基本方針(別紙参照)

現在の利用状況や、利用者へのアンケート及び青少年を対象としたワークショップなどでの意見を踏まえ、移転にあたっての基本方針を以下のとおりとする。

(1) 青少年活動・青少年育成活動や、青少年会館の事業に必要な施設規模・機能を確保すること。

(2) 青少年活動・青少年育成活動や、青少年の事業の継続性の観点から、仮移転はせず本移転すること。

(3) 青少年会館は中央区の「中高生の居場所」でもあることから、中央区内で移転すること。

この基本方針に基づき、神戸駅周辺に本移転することを目指す。

### 4. 今後について

今後は、本基本計画(案)に沿って、具体的な仕様や機能等の詳細などについて、引き続き青少年会館利用者の意見を聴きながら検討していく。

**(仮称)新「神戸市青少年会館」基本計画  
(案)**

2019年（平成31年）2月

神戸市

## 目 次

1. はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
2. 青少年会館移転の背景・・・・・・・・・・・・・・・・ P 3
  - (1) 「三宮周辺地区の『再整備基本構想』」
  - (2) 「新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通5・6丁目再整備基本計画」
3. 青少年会館の現状・・・・・・・・・・・・・・・・ P 6
  - (1) 施設概要
  - (2) 利用実績
  - (3) 利用者アンケート
4. (仮称)新「神戸市青少年会館」に関する利用者等の意見・・ P 10
  - (1) 青少年会館の利用者
  - (2) 各区の青少年の居場所の利用者
5. 基本方針等・・・・・・・・・・・・・・・・ P 15
  - (1) 基本方針
  - (2) 必要な規模・機能、移転先
  - (3) 今後のスケジュール

## 1. はじめに

神戸市青少年会館（以下、「青少年会館」といいます。）は、青少年の健全育成と青少年活動の促進を図ることを目的として、1980年（昭和55年）4月に開設し、今年で開設から38年目となります。

青少年団体・青少年育成団体の活動の場として、また、中高生の居場所として、2017年度（平成29年度）には約12万人の方にご利用いただいています。

一方、神戸市では、2015年（平成27年）9月に策定した「三宮周辺地区の『再整備基本構想』」の中で、現在分散している中・長距離バスの乗り場や降り場を集約し、雲井通5・6丁目に新たなバスターミナルを段階的に整備することを計画しています。

青少年会館が所在する雲井通5丁目はこの再整備基本計画では第I期となり、2020年度末頃から順次、青少年会館を含む、このエリア内にある建物の解体工事に着手する予定です。

なお、第I期バスターミナルの完成予定は、2025年度以降としています。

そのため、青少年会館は、2020年度から2021年度頃を目途に移転することを予定していますが、現在の利用状況や、利用者へのアンケート及び青少年を対象としたワークショップなどでいただいたご意見なども踏まえ、新たな青少年会館に関する『（仮称）新「神戸市青少年会館」基本計画』を策定します。

## 2. 青少年会館移転の背景

### (1) 「三宮周辺地区の『再整備基本構想』」

神戸市では、2015年（平成27年）9月に三宮駅を中心に半径約500mのエリアを対象とした「三宮周辺地区の『再整備基本構想』」を策定し、その中において、目指すべき将来像として「美しき港町・神戸の玄関口“三宮”」を掲げ、「えき」（6つの駅とバス乗降場）と「まち」をつなぐ神戸の象徴となる新しい駅前空間「えき～まち空間」を整備していくこととしています。

また、2018年（平成30年）9月に策定した「神戸三宮『えき～まち空間』基本計画」では、「三宮クロススクエア」を核とする公共施設の計画や、民間施設に期待される機能や設えなどについて、官民共通の具体的な目標像及びその実現に必要な取り組みを示しています。



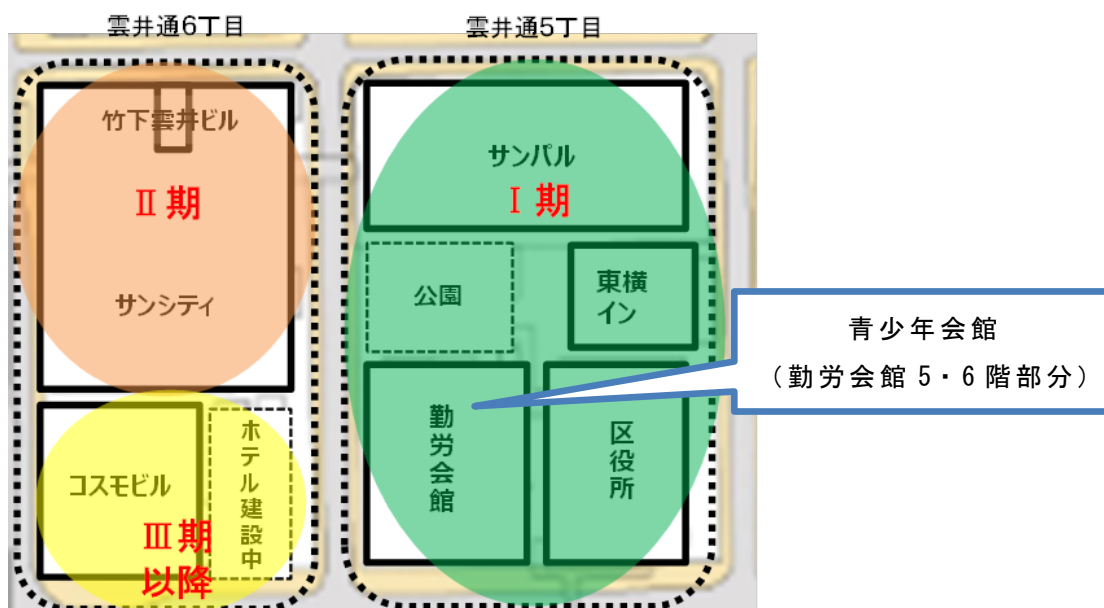
〔神戸三宮「えき～まち空間」基本計画 検討範囲〕  
（三宮周辺地区の『再整備基本構想』より抜粋）

(2) 「新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通 5・6 丁目再整備基本計画」

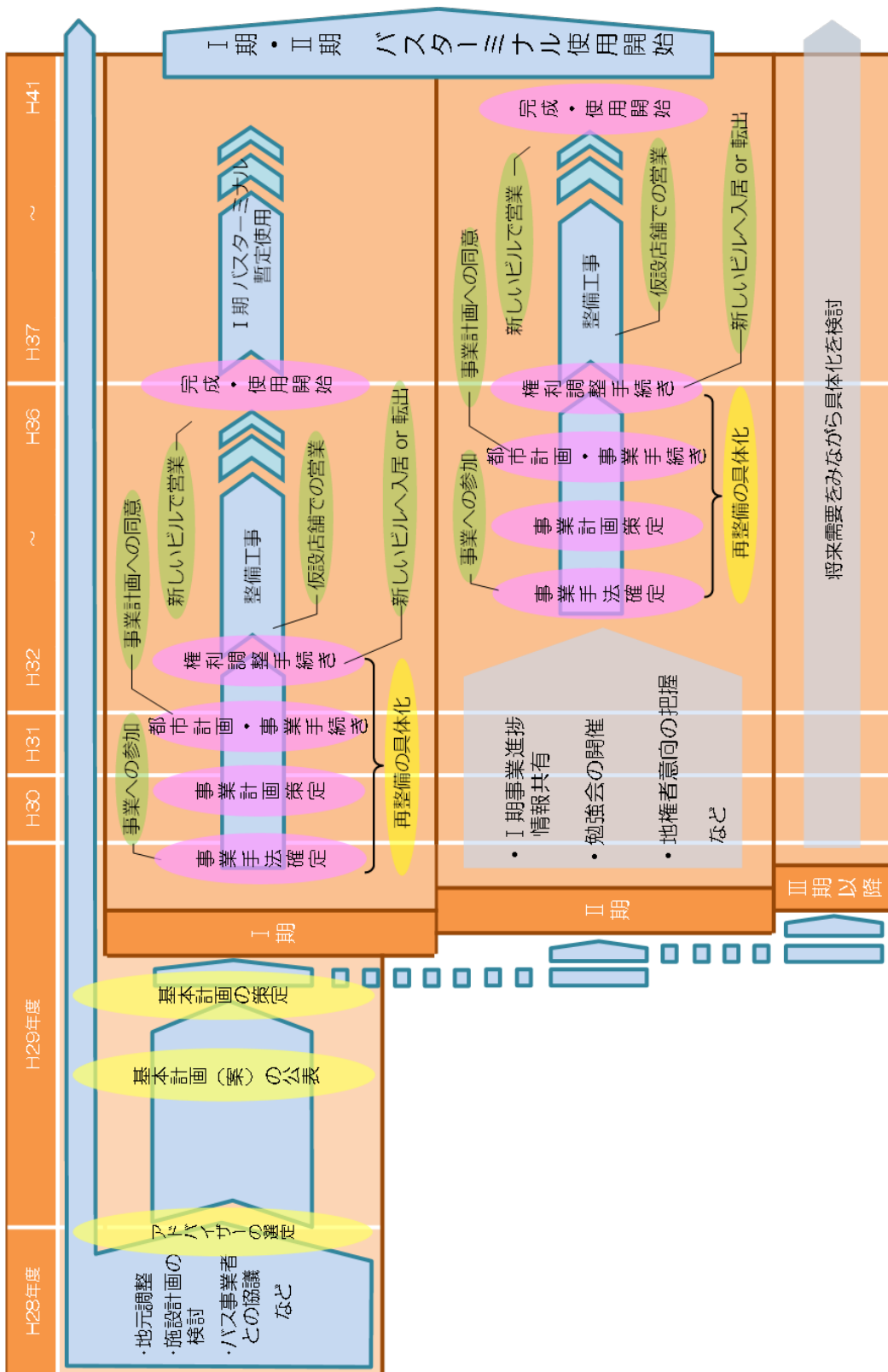
神戸市が 2018 年（平成 30 年）3 月に策定した「新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通 5・6 丁目再整備基本計画」では、再整備エリアをⅠ期、Ⅱ期、Ⅲ期以降の 3 つのブロックに分け、段階的に施行することとしています。

この再整備基本計画において、青少年会館が所在する雲井通 5 丁目はⅠ期となり、2020 年度末頃から順次、青少年会館を含む、このエリア内にある建物の解体工事に着手する予定です。

なお、第Ⅰ期バスターミナルの完成予定は、2025 年度以降としています。



〔雲井通 5・6 丁目再整備のブロック分けのイメージ〕  
（「新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた雲井通 5・6 丁目再整備基本計画」より抜粋）



〔雲井通5・6丁目再整備の目標スケジュール〕  
 (「新たな中・長距離バスターミナルの整備に向けた  
 雲井通5・6丁目再整備基本計画」より抜粋)

### 3. 青少年会館の現状

#### (1) 施設概要

開設	1980年（昭和55年）4月23日（築38年）
所在	神戸市中央区雲井通5丁目1番2号 （神戸市勤労会館 5・6階部分）
延床面積	2,799 m <sup>2</sup>
施設内容	5階 フリースペース、レクリエーションホール （多目的室）、研修室、こうべ若者サポート ステーション、事務室等 6階 サークル室、音楽室等
開館時間	午前9時から午後9時まで （日曜・祝日は午後5時まで）
休館日	第3月曜日、年末年始
設置目的	青少年の健全な育成及び青少年活動の促進を図ること

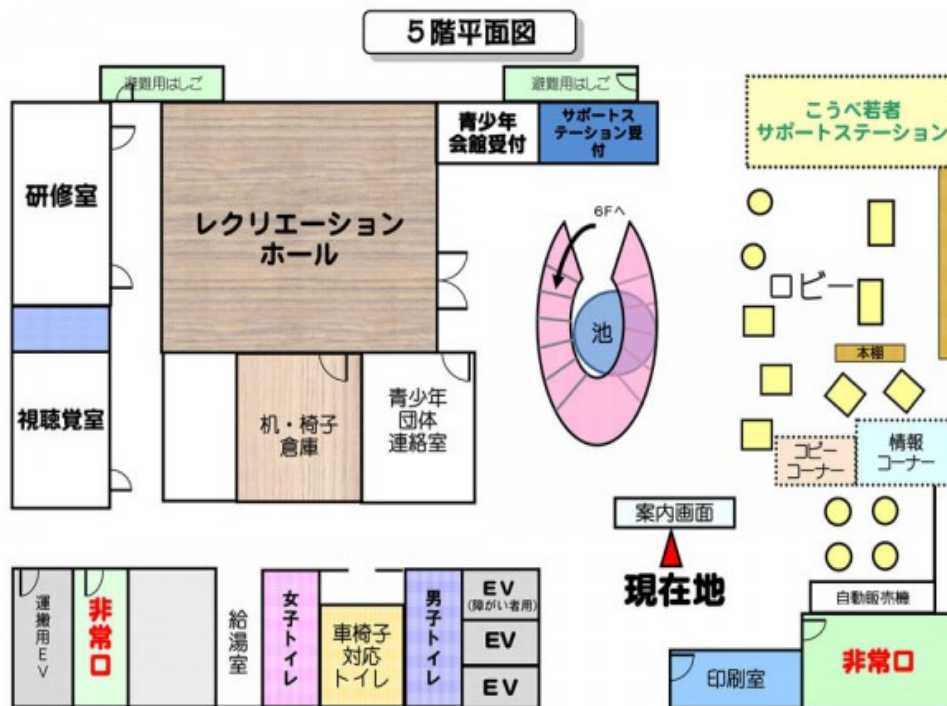
#### 実施事業

- ・ 青少年のための研修会、講習会等を開催すること
- ・ 青少年等の自主活動の場を提供すること
- ・ 青少年及び青少年団体に関する相談及び指導を行うこと
- ・ 以上のほか、青少年の健全な育成及び青少年活動の促進を図るために必要と認められる事業を行うこと

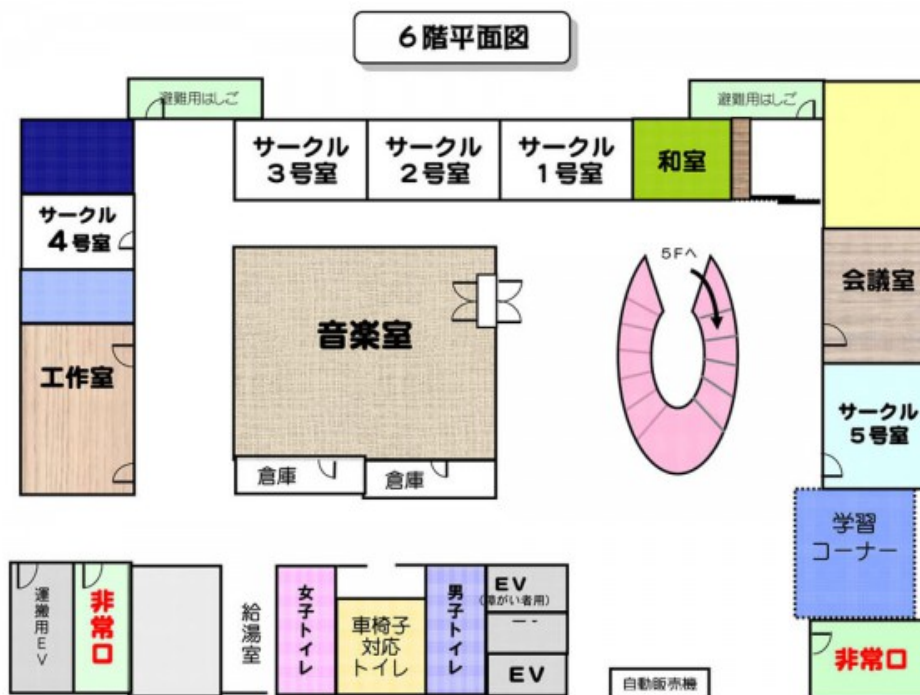
#### 利用対象者

- ・ 青少年、登録団体である青少年団体及び青少年育成団体  
※登録団体：青少年の健全な育成及び青少年活動の促進を目的に活動する青少年団体及び青少年育成団体として青少年会館に登録している団体  
2017年度（平成29年度） 201団体  
（青少年団体：61団体、青少年育成団体：140団体）  
※登録団体以外の一般の方も空室であれば利用可能





〔青少年会館 5階平面図〕



〔青少年会館 6階平面図〕

## (2) 利用実績

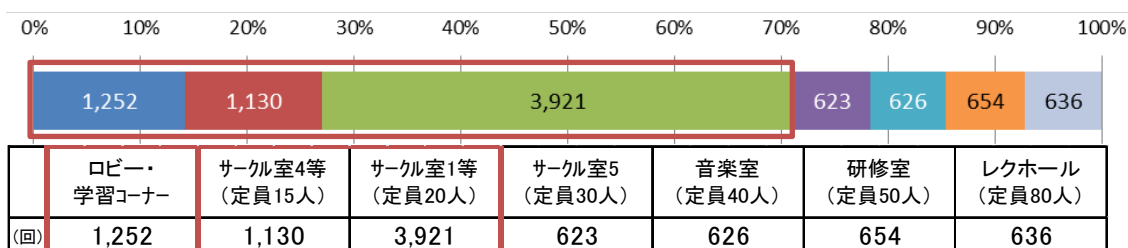
2017年度（平成29年度）の利用実績は、青少年団体や青少年育成団体の方が主に利用されているサークル室やレクリエーションホール（多目的室）、音楽室などの部屋利用が7,590回で76,983人となっています。

中高生の方が主に利用されているフリースペース（5階ロビー及び6階学習コーナー）は、47,166人となっています。

会館日数	部屋利用		利用者数		
	回数	率	合計	部屋利用	フリースペース
345日	7,590回	86.5%	124,149人	76,983人	47,166人

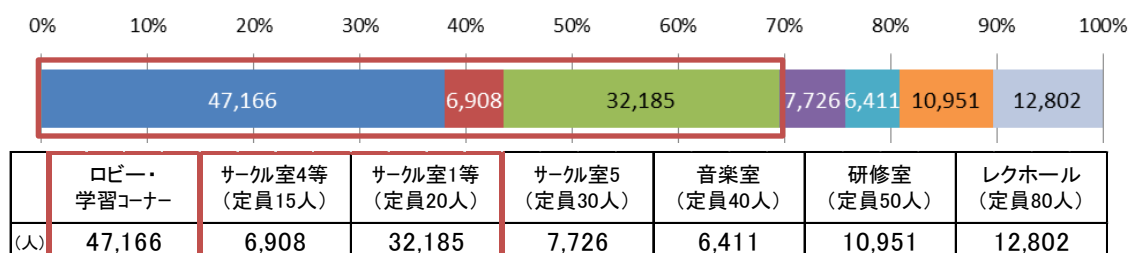
〔2017年度（平成29年度）の利用実績〕

部屋別の利用回数は、サークル室など定員が15人から20人の部屋の利用が多くなっています。



〔部屋別の利用回数〕

部屋別の利用人数は、利用回数と同様の傾向となっています。



〔部屋別の利用人数〕

1回あたり利用人数は、部屋の広さや定員に応じて概ね利用されています。

	ロビー・学習コーナー	サークル室4等 (定員15人)	サークル室1等 (定員20人)	サークル室5 (定員30人)	音楽室 (定員40人)	研修室 (定員50人)	レクホール (定員80人)
(人)	37.7	6.1	8.2	12.4	10.2	16.7	20.1

〔1回あたりの利用人数〕

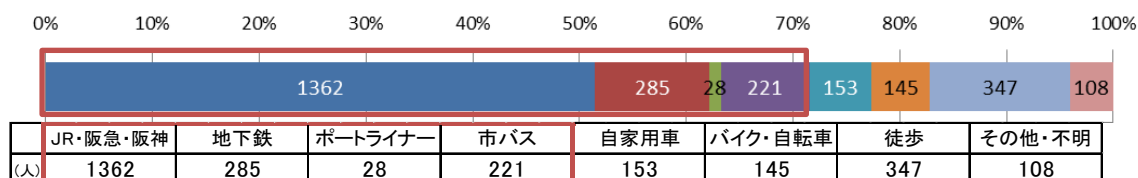
### (3) 利用者アンケート

2016年（平成28年）夏に、青少年会館の利用者や、登録団体である青少年団体及び青少年育成団体を対象としたアンケート調査を実施しました。

#### 【利用者を対象としたアンケート調査の概要】

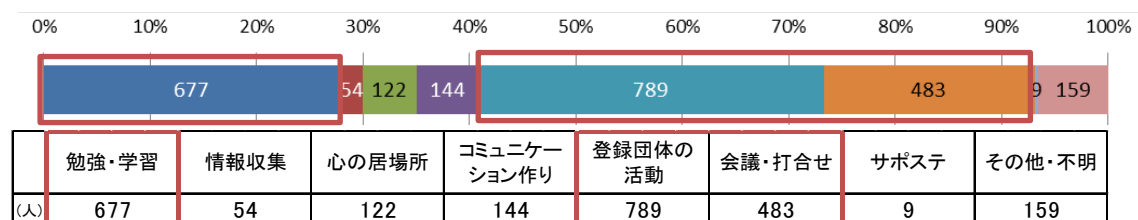
調査対象 調査期間中に青少年会館に来館した利用者  
 調査内容 属性、交通手段、利用目的等  
 調査期間 2016年（平成28年）7月中旬～8月中旬  
 回収票数 1,793票

青少年会館へ来館する際の主な交通手段は、鉄道を中心とする公共交通機関の利用が多くなっています。



〔青少年会館へ来館する際の主な交通手段〕

利用目的は、中高生は主に勉強・学習、青少年団体に属する大学生や青少年育成団体に属する方は主に登録団体の活動や会議・打合せとされています。



〔青少年会館の利用目的〕

#### 【登録団体を対象としたアンケート調査の概要】

調査対象 青少年会館登録団体 198団体(2016年7月時点)  
 調査内容 主に利用する部屋、利用目的等  
 調査期間 2016年（平成28年）7月中旬～8月中旬  
 回収票数 151団体（回収率76.3%）

主に利用する部屋は、サークル室など定員が15人から20人の部屋の利用が多く、利用実績と同様の傾向にあり、また、利用目的は、会議・打合せ、練習、団体の主催行事となっています。

## 4. (仮称) 新「神戸市青少年会館」に関する利用者等の意見

### (1) 青少年会館の利用者

神戸市において青少年会館の移転の方向性を検討していく中で、青少年会館の設立に関わった青少年育成団体や利用者である登録団体に対しては、適宜、情報提供や説明を行ってきており、その際には任意の形ではありますが、いくつかのご意見をいただきました。

ご意見としては、「青少年活動は、継続性が重要であることから、仮移転はせずに本移転すべき」、「移転先は青少年の利用を考慮し、公共交通機関が結節する場所がよい」、「青少年から意見をよく聞いてほしい」といった声をお聞きしました。

そこで、2018年（平成30年）夏に、青少年会館を利用している青少年を対象としたワークショップを実施しました。

#### 【青少年を対象としたワークショップの概要】

対象 中高生、予備校生、大学生など 40人

内容 新たな青少年会館に必要なと思う部屋や機能、移転先条件

期間 2018年（平成30年）8月下旬～9月上旬

#### 主な意見

- ・今の青少年会館を利用している主な理由として、
  - ▶静か過ぎず、友人同士で教え合いながら勉強することができる
  - ▶青少年団体の活動場所として打合せや会議に利用していることから、今の青少年会館のような部屋や機能でいい
- ・勉強できるスペース、ゆっくりできるスペース、友人同士で自由に過ごせるスペース、身体を動かせるスペースなどがあるといい
- ・各スペースは分けて、静かなところと話をしてもいいところなど、今の青少年会館の5階にあるフリースペースのような雰囲気がいい
- ・少人数でも集まりやすく、今の青少年会館の6階にあるサークル室（定員15人～20人）のような広さの部屋が使いやすい
- ・ロビーや部屋は全体的に明るく、人が集まりやすい雰囲気がいい
- ・Wi-Fi機能をに入れて欲しい
- ・パソコンや本、辞書・過去問題集、ウォーターサーバーを置い

て欲しい

- ・部屋の壁面に、練習する姿が確認できるような大きな鏡が欲しい
- ・ホワイトボード仕様の壁があるといい
- ・駅から近い場所で、雨に濡れずに行けるところがいい
- ・自転車置き場があるといい
- ・近くにスーパーやコンビニエンスストア、カフェなどがあるといい

また、2018年（平成30年）秋に、新たな青少年会館について、登録団体である青少年団体及び青少年育成団体を対象としたアンケート調査を実施しました。

#### 【登録団体を対象としたアンケート調査の概要】

対象 青少年会館の登録団体 189 団体

（次年度登録更新説明会参加団体）

内容 新たな青少年会館に必要なと思う部屋や機能、移転先候補

期間 2018年（平成30年）11月中旬～下旬

回収票数 151 団体（回収率 79.9%）

#### 主な意見

○新たな青少年会館に必要なと思う部屋（複数回答可）

・打合せや会議ができるサークル室	137 件
・分割利用もできる多目的室	63 件
・ダンスや演劇などの練習スペース	47 件
・音楽室	46 件
・中高生の居場所としてのフリースペース	40 件
・今のレクリエーションホールのような広い部屋	33 件
・調理室や給湯室など	14 件
・その他、複数意見があったもの（カッコ内は件数） 音楽室以外で防音設備のある部屋(6)、受験・資格取得・就職など学生のためのスペース(5)、今の会館と同等の部屋(4)、和室(4)、工作室(4)、視聴覚室(3)、録音室(2)、図書スペース(2)、印刷室(2)	

○新たな青少年会館に必要なだと思う機能（複数回答可）

・W i - F i 機能の導入	101 件
・洋式化などトイレに関すること	100 件
・練習スペースに大きな鏡	31 件
・防音、音響、大型楽器など音楽室に関すること	22 件
・パソコン、ホワイトボード、机・椅子など備品に関すること	21 件
・スクリーン、プロジェクターなど視聴覚機器に関すること	10 件
・その他、複数意見があったもの（カッコ内は件数） 空調設備に関すること(7)、飲食できる場所・喫茶・カフェ等(6)、ロッカー(4)、印刷・コピー等に関すること(4)、コンセント・複数の電源(3)、バリアフリー(3)、現状と同等(3)、畳・絨毯(2)	

○新たな青少年会館として必要な面積を確保して、仮移転や休止することなく新たな場所へと移転し、活動を継続していくための移転先候補（自由記載）

・意見記載なし	67 件
・交通の便の良いところ、駅近	28 件
・休止せず、継続して利用できるよう場所を確保して欲しい	24 件
・神戸駅周辺	15 件
・三宮駅周辺か神戸駅周辺など中央区内の主要駅周辺	12 件
・その他、複数意見があったもの（カッコ内は件数） できれば三宮駅周辺が望ましい(5)、バリアフリー(3)、安全に利用できる場所(3)、場所によっては駐車場(2)	

○その他

・青少年会館の事業に関すること SNSを利用した広報、イベント、登録団体への活動支援など	9件
・利用料に関すること 登録団体の利用料について無料、減額など	7件
・利用予約に関すること 予約回数、ネット予約など	3件

さらに、神戸市内の青少年団体が中核となって設立された特定非営利活動法人であり、現在の青少年会館の指定管理者からは、管理運営に携わってきた観点から、いくつかご意見をいただきました。

- ・青少年団体及び青少年育成団体の活動の場を継続して確保することが一番重要である
- ・5年先、10年先に利用者がどのようなものを求めるのか、変化するスピードが速く読みにくい時代だから、利用者のニーズや好みの変化などに柔軟に対応できるように、造作はシンプルにして変えやすい仕様にしたほうがいい

## (2) 各区の青少年の居場所の利用者

普段、青少年会館を利用していない青少年の意見を聴くため、各区の青少年の居場所（ユースプラザKOB E－WESTなど）において運営ボランティアをしている青少年を対象としたワークショップを実施しました。

### 【青少年を対象としたワークショップの概要】

対象 中高生、予備校生、大学生など 52人

内容 新たな青少年会館に必要なと思う部屋や機能、移転先条件

期間 2018年（平成30年）8月上旬～中旬

#### 主な意見

- ・勉強できるスペース、ゆっくりできるスペース、友人同士で自由に過ごせるスペース、身体を動かせるスペースなどがあるといい
- ・ステージやアトリエ、展示会などができるような、何も無い部屋（空間）があるといい
- ・開放的で自由な空間がいい
- ・気軽に進路や悩み相談ができて、コミュニケーションのとれる職員がいるといい（相談室とか堅苦しいものはNG）
- ・W i - F i 機能を入れて欲しい
- ・パソコンとプリンター、プロジェクター、本や参考書・問題集、コピー機、自動販売機、ウォーターサーバー、空気清浄機を置いて欲しい
- ・パソコンはソフトも充実してほしい
- ・黒板やホワイトボード仕様の壁があるといい
- ・駅に近くて、周りに食事ができるところがあるといい



〔ユースプラザKOB E－WEST〕



## 5. 基本方針等

### (1) 基本方針

青少年会館は、2020年度から2021年度頃を目途に移転することを予定していますが、現在の利用状況や、利用者へのアンケート及び青少年を対象としたワークショップなどにおいて、これまでにいただいたご意見なども踏まえ、移転の方向性・条件を基本方針として整理しました。

- ・ 青少年活動・青少年育成活動や、青少年会館の事業に必要な施設規模・機能を確保すること
- ・ 青少年活動・青少年育成活動や、青少年会館の事業の継続性の観点から、仮移転はせず本移転すること
- ・ 青少年会館は中央区の「中高生の居場所」でもあることから、中央区内で移転すること

### (2) 必要な規模・機能、移転先

現在の青少年会館において利用実績が高く、また、アンケートなどにおいても新たな青少年会館に必要と考えられる部屋として多くのご意見をいただいた、

- ・ 打合せや会議ができる、定員15人～20人の広さのサークル室
- ・ 分割利用もできる多目的室
- ・ ダンスや演劇などの練習スペースや音楽室
- ・ 中高生の居場所としてのフリースペース

を整備していきます。

さらに、このような部屋やスペースに加え、事務室など所要のスペースを確保します。

なお、現在の青少年会館は、2,799㎡の延床面積がありますが、2つのフロアに分かれていることもあり、階段や機械室などの共用部分が多く、部屋やフリースペース、事務室などの専用部分は約1,200㎡となっています。

新たな青少年会館は、必要な部屋やスペースを確保しつつ、効率的な管理運営ができる配置も検討したうえで、1,000㎡程度の床面積が必要であると考えています。

また、アンケートなどにおいて新たな青少年会館に必要と考えられる機能として多くのご意見をいただいた、

- ・W i - F i 機能
- ・洋式トイレ
- ・練習スペースに大きな鏡

などを設置するほか、利用者のニーズの変化などに柔軟に対応できるように造作や仕様を検討していきます。

なお、具体的な部屋の仕様や機能については、今後さらに青少年会館を利用されている方からのご意見を聴きながら、詳細を検討していきます。

移転先候補としては、必要な床面積を確保して、仮移転はせずに本移転できる場所を、中央区内の主要駅周辺で検討しました。

その結果、現在の青少年会館が所在する三宮駅周辺では、これから都心・三宮再整備事業などが始まることもあり、必要な床面積を確保して、仮移転はせずに本移転できる場所は見当たらない状況にあります。

なお、仮移転場所も見当たらない状況にあるため、駅から遠くなることも含めて場所が見つかるまでの間、青少年会館としては休止という状況を余儀なくされる可能性も否定できない状況です。

神戸駅周辺では、駅から地下街経由で徒歩5分程度の範囲内で必要な床面積を確保して、仮移転はせず本移転できる場所を確保できる可能性があります。

登録団体である青少年団体及び青少年育成団体を対象としたアンケートでは、移転先に関して、交通の便の良い駅近を望む声、また、休止せず継続して利用できる場所を確保して欲しいという声を多くいただいています。

そのため、青少年活動・青少年育成活動の場として、また、中高生の居場所として、継続して安定的に活動ができる場所を確保することが一番重要であると考え、神戸駅周辺に新たな青少年会館として必要な床面積を確保して、本移転することを目指します。

### (3) 今後のスケジュール

今後は、この基本計画で示した基本方針等に沿って、新たな青少年会館の具体的な仕様や機能等の詳細検討、また、新たな青少年会館の名称や愛称、利用に関する事項などについて、青少年会館を利用されている方からのご意見などを聴きながら、検討を進めていきます。

	2018年度 (平成30年度)	2019年度 (平成31年度)	2020年度	2021年度
青少年会館	基本計画の策定	具体的な仕様・機能等の詳細検討、整備	移転	
新たなバスターミナル 整備 第I期 (雲井通5丁目)	事業計画の策定	都市計画・事業手続き 権利調整手続き	工事着手	